

■科目名		
教職概論		
■英語名		
Analysis of Teaching Profession		
■授業科目区分	■単位数	■開講期
教職科目	2	3期
■担当教員	■連絡先 (TEL)	■連絡先 (MAIL)
山元有一 (非常勤)、濱崎貢 (非常勤)	099-285-8025 (学生係)	yamagen@jka.jyo.ac.jp (山元先生)
■代表者教員連絡先等		
■オフィスアワー	■オフィスアワー (場所)	
講義終了後またはアドレスにて。	講義室または電子上。	
■共同担当教員		
■学修目標		
現代における教員の活動は多岐に渡り、しかも極めて重要である。本講義では、教職の意義、教員の役割、教員の資質について考え、学生自らが教員としての適性を吟味し、また深める機会とする。		
■授業概要		
教員を社会的、歴史的、法的、倫理的に学ぶことを通して、教職を目指す者として知識面や人格面で今ぞ何が必要であるのかを、自分自身を吟味しながら深めていく内容を提供していく。		
■授業計画		
1回：なぜ家庭でなく学校、親でなく教員なのか？―学校と教員の存在意義 (山元)		
2回：教職の職業的特徴と使命―教育の専門家にして全体的人間としての教員 (山元)		
3回：自分自身を知ること―「子供は教員の鏡」 (山元)		
4回：現代の社会と教育の動き―『学習指導要領』からの読解と教員に求められる事柄 (山元)		
5回：中等教育機関の教員の職務内容と求められる資質―知的側面に限って (山元)		
6回：中東教育機関の教員の職務内容と求められる資質―心理的・道徳的側面に限って (山元)		
7回：学校内での連携―学校等のチーム化 (山元)		
8回：中東連携、高大連携―学校等のチーム化 (山元)		
9回：生徒理解を深め、教育力を上げるにはどうするか？―職員研修、生涯に渡る学習の必要性 (山元)		
10回：自分自身に即した教師像を求めて―教育音目的と教員の資質 (山元)		
11回：教育法規?―憲法、教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則等を中心に (濱崎)		
12回：教育法規?―地方公務員法、教員免許法、教育公務員特例法等を中心に (濱崎)		
13回：教員の身分と服務義務―教員免許法、教育公務員特例法等 (濱崎)		
14回：人権教育の推進―学級・授業における人権教育 (濱崎)		
15回：学級経営における教育の役割―学級経営と学習指導・生徒指導・メンタルケア (濱崎)		
期末試験		
■【授業外学習】 (予習・復習)		
講義終了後、毎回の講義のまとめを怠らないこと。		
■受講要件	■成績の評価基準	
特になし	授業への参加態度と意欲 (30%)、筆記試験により評価する。(70%)	
■教科書	■参考書	
特に使用しない	ジョン・デューイ『民主主義と教育』(岩波文庫)、 『経験と教育』(講談社学術文庫)。 その他、高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 【理科編、理数編】、教育観や教師観の形成に資する文献等(哲学、小説、映画、芸術等)については、講義中に適宜提示する。	
アクティブ・ラーニング		
アクティブ・ラーニング (「その他」の内容)		

アクティブ・ラーニング（授業回数）

0/15

■その他

■実務経験のある教員による実践的授業